

詩を書いてみてわかったこと。

詩を書くには余裕が必要だ。そして時間もいる。

書くことにかかる時間は一瞬かもしれないが、その一瞬までに時間がある。

詩を書くには詩を書こうとしなければならないし。

それで、詩を書くのは恥ずかしい。

まるで自分が何か詩を書けるような気になっているうちに詩を書くことが。

だけど。だけどなんて言葉はこれからあまり使いたくないけど、詩を書こうとすることが、もしかしたらこれも詩ではないかと思うことで、例えばデュシャンが両手で男性用小便器を抱えて美術館に持ち込んだ瞬間や、4分33秒の初演時にピアニストが騒然とする場内でそっとグランドピアノの蓋を閉めた瞬間にもあった、実際にはそんなこと起こらなかったことなのかもしれないし、それはすべて僕の妄想かもしれないが、世界のファームウェアが更新されるような感覚を覚えるんだろう。

回答は、すべての言葉が均等に可能性を持っていて、

そのなかで寝たり起きたり恋人とキスをして、詩を書こうとすることに意味があること。